マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

- パソコンをお取り扱いいただくための注意事項
  ご使用前に必ずお読みください。

セットアップガイド（本書）

- パソコンの準備
- Windowsのセットアップ
- 電源の切りかた
- Q&A集（電源が入らないとき）
- リカバリ（再セットアップ）
- デイリーケアとアフターケア

など

取扱説明書

- 電源の入れかた
- 各部の名前
- 増設メモリの取り付け／取りはずし
- バッテリパックの交換
- システム環境の変更とは

など

オンラインマニュアル

Windowsが起動しているときにパソコンの画面上で見るマニュアルです。

参照 起動方法「1章 6 画面で見るマニュアル」

- パソコンを買い替えたとき
- パソコンの基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリで使う方法
- システム環境の変更
- パソコンの動作がおかしいとき／Q&A集

など

リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など
  必ずお読みください。

参照 「はじめに-リリース情報について」

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。
必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

記号	意味
警 告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること"を示します。
注 意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること"を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 ほかのマニュアルへの参照の場合 …『　』 オンラインマニュアルへの参照の場合 …《　》 オンラインマニュアルには、さまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム
　特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
　アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Vista
　Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Home Basic または Windows Vista® Business を示します。

Vista Business モデル
　Windows Vista® Business が搭載されているモデルを示します。

Windows XP
　Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

XP Pro モデル
　Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版が搭載されているモデルを示します。

XP Home モデル
　Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版が搭載されているモデルを示します。

Microsoft IME
　Microsoft® Office IME 2007 または Microsoft® IME を示します。

ドライブ
　DVD スーパーマルチドライブ／ DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ／ DVD-ROM ドライブ／ CD-ROM ドライブを示します。内蔵されているドライブはモデルによって異なります。

Office 搭載モデル
　Microsoft® Office Personal 2007 または Microsoft® Office Professional 2007 がプレインストールされているモデルを示します。

PowerPoint 搭載モデル
　Microsoft® Office PowerPoint® 2007 がプレインストールされているモデルを示します。

無線 LAN モデル
　無線 LAN 機能が内蔵されているモデルを示します。

指紋センサ搭載モデル
　指紋センサが搭載されているモデルを示します。

トークン機能搭載モデル
　トークン機能が搭載されているモデルを示します。

HDD リカバリ機能搭載モデル
　ハードディスクリカバリ機能が搭載されているモデルを示します。

TPM 搭載モデル
　TPM 機能が内蔵されているモデルを示します。

記載について

・記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
・インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
・アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・キーボード操作の説明は、キーボードの文字をすべて大文字で表記しています。ご購入のモデルによっては、キーボードの大文字と小文字の表記が異なる場合があります。
・［コントロールパネル］画面には2種類の表示形式があります。本書では、次のように設定していることを前提に説明しています。

Windows Vistaの場合：「コントロールパネルホーム」
Windows XPの場合　：「カテゴリ表示」

「クラシック表示」になっている場合は、画面左の「コントロールパネルホーム」または「カテゴリ表示」をクリックしてください。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、Outlook、Excel、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Intel、インテル、インテルCore、Centrinoは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標、または登録商標です。
・Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。
・ 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
・ ACアダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
・ マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
・ 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
・ 複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
・ 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
・ 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

■64ビットプロセッサに関する注意
64ビット対応プロセッサは、64ビットまたは32ビットで動作するように最適化されています。
64ビット対応プロセッサは以下の条件をすべて満たす場合に64ビットで動作します。
●64ビット対応のOS（オペレーティングシステム）がインストールされている
●64ビット対応のCPU/チップセットが搭載されている
●64ビット対応のBIOSが搭載されている
●64ビット対応のデバイスドライバがインストールされている
●64ビット対応のアプリケーションがインストールされている

特定のデバイスドライバおよびアプリケーションは64ビットプロセッサ上で正常に動作しない場合があります。
プレインストールされているOSが、64ビット対応と明示されていない場合、32ビット対応のOSがプレインストールされています。
このほかの使用制限事項につきましては各種説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝PCあんしんサポート0120-97-1048にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。
①［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

使い終わったとき

＊ Windows Vista のみ

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る方法のほかに、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する方法があります。この機能を、「スリープ」と呼びます。スリープ機能は、次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。その場合スリープ中でもバッテリを消耗しますので、AC アダプタを取り付けておくことを推奨します。
なお数日以上使用しないときや、付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合（増設メモリの取り付け／取りはずしや、バッテリパックの取り付け／取りはずしなど）は、スリープではなく、必ず電源を切ってください。

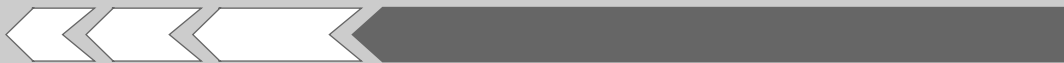
参照 スリープ／電源を切る「1 章 4 使い終わったら」

［ユーザー アカウント制御］画面について

＊ Windows Vista のみ

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、［続行］または［許可］ボタンをクリックしてください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

お願い

・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属の CD ／ DVD からインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
・モデルによっては、Windows Vista と Windows XP の CD ／ DVD が付属しています。本製品は、必ずどちらかの OS のみをインストールした状態でご使用ください。Windows Vista と Windows XP を、一度に両方とも使用することはできません。
・Windows Vista Home Basic では、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business に搭載の一部の機能（Windows Aero インタフェース、フリップ 3D など）はご利用になれません。
・Windows 標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
・内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属の CD ／ DVD からインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
・本製品に内蔵されている画像を、本製品での壁紙以外の用途に使用することを禁じます。
・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。
HDD パスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有償です。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
・本製品はセキュリティ対策のためのパスワード設定や、無線 LAN の暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、弊社は一切の責任を負いません。
・指紋認証機能は、正しくお使いいただいた場合でも、個人差により指紋情報が少ないなどの理由で、登録・使用ができない場合があります。
・指紋認証機能は、データやハードウェアの完全な保護を保証してはおりません。本機能を利用したことによる、いかなる障害、損害に関して、一切の責任は負いかねますので、ご了承ください。
・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
・アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書は表示されませんが、リカバリを行った場合には使用許諾書が表示されます。
・『東芝保証書兼お客様登録カード』は、「東芝保証書」と「お客様登録カード」を中央の切り取り線で切り離せます。「東芝保証書」は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体付属の『お客様登録カード』または弊社ホームページで登録できます。

参照 詳細について 《オンラインマニュアル》

1 章

パソコンの準備 －セットアップ－

この章では、Windows のセットアップ、電源の切りかた、ほかのマニュアルなどについて説明しています。

1 使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

■箱の中身の確認■
『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 東芝PCあんしんサポート 『東芝PCサポートのご案内』

■型番と製造番号を確認■
パソコン本体の裏面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。
番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照 型番または製造番号の記載位置 『取扱説明書』

2 忘れずに行ってください

■使用する前に■
本製品を使用する前に、必ず本書をはじめとする各種説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』を読んでください。

■保証書は大切に保管■
故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無償（無料）保守サービスが受けられます。
保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

TOSHIBA お客様登録カード http://room1048.jp/でも登録できます。
＊登録対象製品はPC本体及びPDAのみです（周辺機器は登録できません）。
登録の種類：新規・追加
以下の★欄は必ずご記入ください。
★お買い上げ日（西暦） 年 月 日
★ご登録種別 個人・法人
お名前 ★フリガナ： ★漢 字：
生年月日： 年 月 日 性別： 男・女
★ご住所 〒
★電話： FAX：
法人名 会社名： 部署名：
Eメールアドレス：
最新情報のメール配信について □配信希望 □配信不要
＜個人情報保護について＞
■16歳未満の方は、親権者がご記入内容を確認してください。
■ご登録いただいた情報をもとに東芝または東芝の子会社・関連会社が行うサポートサービスや新製品のご案内等をお送りさせていただく場合があります。
なお、送付する際に必要な情報を委託先に預託することがあります。
■ご案内の送付が不要になった場合やお客様登録後の住所変更等は、「お客様登録番号」または「TID」とともに下記までご連絡をお願いいたします。
☎ 03－3457－4861、FAX 03－3457－4868 （9:00～17:00 土、日、祝日、当社休業日を除く）

切り取り

本書は、取扱説明書等の注意書きによる正常なご使用において故障した場合、裏面の「無料修理規定」に準じて、無料修理をお約束するものです。
★お買い上げ日(Purchase Date) 西暦 年 月 日
★お客様情報 お名前 フリガナ
ご住所 〒
電話：
本書は日本国内での保証と、ILW対象製品（上記※欄に ILW が記載）の海外保証を証明します（ILWについては、ILW対象製品にのみ同梱されている「海外保証（制限付）のご案内」もご覧ください）。
If "ILW" appears at the top of this section, this product is covered by the ILW from the date of purchase for the period shown in parenthesis.
※本書の再発行はいたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
ご販売店様へ：必ずお買い上げ日、貴販売店名等をご記入の上、お客様にお渡しください。
★ご販売店名、住所、電話番号
株式会社 東芝 PC＆ネットワーク社 PC第一事業部 (Printed in Japan)
GX1C00070110

■海外保証を受けるには■
海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・確認事項の範囲内で修理サービスを利用できます。
利用方法、保証の詳細については『海外保証（制限付）のご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

■ Product Keyは大切に保管■
本製品には、パソコン用基本ソフト（OS）としてマイクロソフト社製のWindowsが用意されています。このWindowsにそれぞれ割り当てられている管理番号を「Product Key」といいます。
Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

最適な場所で使う

1 パソコンに最適な環境とは

⚠注 意

- **パソコンの側面や底面の通風孔をふさがないこと**
- **パソコンは常に平らで硬いものの上に置いて使用すること**
  通風孔をふさぐおそれがあるので、カーペット、ソファ、ベッドなどの柔らかいものの上での使用は避けてください。
- **パソコンの底面やパームレストに長時間触れないこと**
  パソコンの底面やパームレストは熱くなることがあります。
  長時間触れていると低温やけどの原因となります。
  ひざの上などで長時間使用するときは、硬いパッドなどをパソコンの下に敷いてください。

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。
次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

- 安定した場所に置きましょう。
  不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やケガにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  磁石はもちろん、スピーカ、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
  携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
  通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windows のセットアップを行う必要があります。
Windows のセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。
セットアップには約 10 ～ 40 分かかります。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードや AC アダプタの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■周辺機器は接続しないでください■

- セットアップは AC アダプタと電源コードのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、プリンタ、マウスなどの周辺機器や LAN ケーブルは接続しないでください。

■途中で電源を切らないでください■

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり修理が必要となることがあります。

■操作は時間をあけないでください■

- セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  30 分以上タッチパッドやキーを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなる場合がありますが、故障ではありません。
  もう 1 度表示するには、(SHIFT)キーを押すか、タッチパッドをさわってください。

本節では、Windows Vista のセットアップと Windows XP のセットアップ方法を説明しています。お使いの機種の状態に合わせて、該当する OS の手順をご覧ください。

① Windows Vista のセットアップ

電源コードと AC アダプタを接続し、電源を入れてください。
接続方法は『取扱説明書』を参照してください。
パソコンが起動したら、［Windows のセットアップ］画面が表示されます。

メモ

- ［Windows のセットアップ］画面が表示されるまで、しばらく時間がかかりますが、この間に電源を切らないようにしてください。
- Windows のセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

1 ［国または地域］欄に「日本」と表示されていることを確認し、［次へ］ボタンをクリックする

役立つ操作集

クリックとは？

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の「 」（ポインタ）が動きます。
目的の位置にポインタを合わせたあと、左ボタンを 1 回押す操作を「クリック」といいます。

［ライセンス条項をお読みになってください］画面が表示されます。

2 ライセンス条項の内容を確認し、［ライセンス条項に同意します］の左にある□をクリックする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows Vista を使用することはできません。
表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをクリックします。

3 ［次へ］ボタンをクリックする

［ユーザー名と画像の選択］画面が表示されます。

Windows Vista では、複数のユーザが 1 台のパソコンを別々に使用することができます。
そのとき、使用するユーザによって違う環境で Windows を起動できるので、Windows 起動時にどのユーザが使用するのかを識別する必要があります。そのために、複数のユーザが使用する場合は、ユーザそれぞれを区別するための名前を登録します。
次の手順で入力するユーザ名は、管理者ユーザを登録するためのものです。
管理者ユーザとは、複数のユーザでパソコンを使用する場合、全体を管理してほかのユーザの使用制限を設定したりできるユーザです。

4 ユーザの名前を入力する

［ユーザー名を入力してください］と書いてある下の欄に、管理者ユーザの名前を入力してください。
「dynabook」と入力するときは、キーボードでⒹⓎⓃⒶⒷⓄⓄⓀと押します。

■ キーを押しても表示されないときは
キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「｜」が点滅しながら表示されていることを確認してください。「｜」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。表示されていないときは、［ユーザー］欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは
- カーソルの左側の文字を削除する ：（BACKSPACE）キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する ：（DEL）キーを押す

カーソルを左右に動かすには、（←）キーまたは（→）キーを押します。
ほかのユーザは、あとで登録できます。

5 パスワードを入力する

［パスワードを入力してください］と書いてある下の欄に、Windows ログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。
Windows ログオンパスワードは半角英数字で 127 文字まで設定できますが、8 文字以上で設定することをおすすめします。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。
Windows ログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。
Windows ログオンパスワードを入力すると、すぐ下に［パスワードをもう一度入力してください］という入力欄が表示されます。

6 パスワードをもう 1 度入力する

［パスワードをもう一度入力してください］と書いてある下の欄に、手順 5 で入力した Windows ログオンパスワードを、もう 1 度入力してください。

7 パスワードのヒントを入力する

設定した Windows ログオンパスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを入力しておいて、パスワード入力画面で表示させることができます。
［パスワードのヒントを入力してください］と書いてある下の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

8 使いたい画像をクリックする

どのユーザであるのかを示すために、ユーザ名のほかに画像を登録することもできます。
画面下部の画像群から、使いたい画像をクリックしてください。

9 ［次へ］ボタンをクリックする

［コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。］画面が表示されます。

10 コンピュータの名前を入力する

コンピュータに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。
［コンピュータ名を入力してください］と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。またこのとき、同じネットワークに接続するコンピュータとは別の名前にしてください。

11 背景にしたい画像をクリックする

パソコンの画面（デスクトップといいます）の背景を設定します。
画面下部の画像群から、使いたい画像をクリックしてください。
クリックすると、選択した画像が実際の背景に表示されます。

12 ［次へ］ボタンをクリックする

［Windows を自動的に保護するよう設定してください］画面が表示されます。

13 ［推奨設定を使用します］をクリックする

［時刻と日付の設定の確認］画面が表示されます。

14 時刻と日付を確認する

コンピュータの内蔵時計の時刻と日付が合っているかどうか確認し、合っていない場合は、正しい内容に設定してください。
［タイムゾーン］は、欄の右にある ▼ をクリックして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をクリックしてください。
年・月の左右にある ◀ または ▶ をクリックすると、月ごとに順に表示が切り替わります。
年・月を合わせてから、下の該当する日をクリックしてください。
時刻表示の右にある ▲ または ▼ をクリックすると、順に数字が切り替わります。
変更したい時／分／秒をクリックしてから ▲ または ▼ をクリックしてください。

メモ

- 時刻と日付は Windows セットアップ終了後に設定することもできます。
- 時刻と日付が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、時刻と日付が合っていることを必ず確認してください。

参照 時刻と日付の設定 「Windows のヘルプ」

15 ［次へ］ボタンをクリックする

［ありがとうございます］画面が表示されます。

16 ［開始］ボタンをクリックする

Windows セットアップが終了すると、コンピュータのパフォーマンスを確認する画面が表示され、次に必要なアプリケーションなどをインストールする画面が表示される場合があります。
画面に［しばらくお待ちください。］と表示されている間は、何も操作しないでお待ちください。
絶対に途中で電源を切らないでください。［しばらくお待ちください。］画面は、何度も表示される場合があります。
画面が終了するごとに、Windows ログオンパスワードを入力する画面が表示されます。
手順5で入力したパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。

メモ

- パソコンを起動するときに流れる Windows の起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

役立つ操作集

時刻と日付の確認

時刻は、画面右下の［通知領域］に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインタを合わせると表示されます。
正しく設定されているかどうか確認してください。
正しく設定されていない場合は、「Windows のヘルプ」を確認して設定してください。

Windows Vistaでわからない操作があったとき

Windows Vistaの使いかたについては、［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をクリックして、「Windowsのヘルプ」を参照してください。
Windows Vistaの最新情報やアップデートの情報は次のホームページから確認できます。

- Windows Vistaについて
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/
- Windows Vistaのアップデート
  URL：http://windowsupdate.microsoft.com/

Windowsセットアップが終了したら

Windowsセットアップが終了したら、HDDリカバリ機能搭載モデルは、リカバリディスクを作成しておくことをおすすめします。
リカバリディスクでは、システムやアプリケーションをご購入の状態に復元（リカバリ）することができます。

参照 リカバリディスクの作成について《オンラインマニュアル》

なお、リカバリディスクを使って実際にリカバリを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリについて「3章 買ったときの状態に戻すには」

ドメインに接続する

＊ Vista Businessモデルの場合

企業内など、ある1つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。
ここでは、本製品をドメインに接続する設定方法を説明します。
ドメインのユーザ名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
本製品を複数のユーザで使用している場合はAdministratorと呼ばれる管理者のユーザに切り替えてから設定を行ってください。

1 **［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする**

2 **［システムとメンテナンス］をクリックする**

3 **［システム］をクリックする**

4 **［設定と変更］をクリックする**
［システムのプロパティ］画面が表示されます。

5 **［コンピュータ名］タブで［変更］ボタンをクリックする**

6 **［ドメイン］の左にある○をクリックしてから接続するドメインの名前を入力し、［OK］ボタンをクリックする**

7 **ドメインの［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］ボタンをクリックする**

8 **［OK］ボタンをクリックする**

9 **［OK］ボタンをクリックする**
パソコンを再起動してください。

② Windows XP のセットアップ

電源コードとACアダプタを接続し、電源を入れてください。
接続方法は『取扱説明書』を参照してください。
パソコンが起動したら、［Microsoft Windowsへようこそ］画面が表示され、音楽が流れます。

メモ

- Windowsのセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

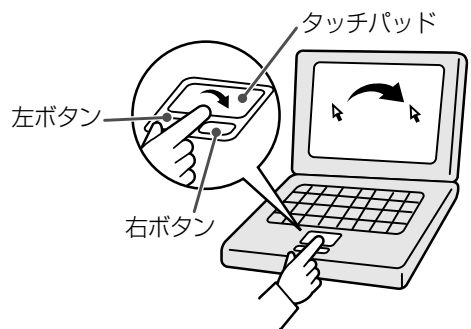
1 ［次へ］ボタンをクリックする

画面右下の ? ボタンをクリックするか F1 キーを押すと、Windowsセットアップのヘルプが表示されます。

［使用許諾契約］画面が表示されます。

役立つ操作集

クリックとは？

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の「 」（ポインタ）が動きます。
目的の位置にポインタを合わせたあと、左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。

2 ［使用許諾契約］の内容を確認して［同意します］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできず、Windows XPを使用することはできません。
▼ ボタンをクリックすると契約書の続きを表示できます。

［コンピュータを保護してください］画面が表示されます。

3 ［自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

［コンピュータに名前を付けてください］画面が表示されます。

4 ［このコンピュータの名前］にコンピュータ名を入力し、［次へ］ボタンをクリックする

半角英数字で任意の文字列を入力してください。このとき、同じネットワークに接続するコンピュータとは別の名前にしてください。企業で本製品を使用する場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
XP Homeモデルの場合は、［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面が表示されます。手順8へ進んでください。
XP Proモデルの場合は、［管理者パスワードを設定してください］画面が表示されます。

5 ［管理者パスワード］と［パスワードの確認入力］にパスワードを入力する

Administratorと呼ばれる管理者のユーザアカウントのパスワードを設定します。管理者のユーザアカウントでは、コンピュータにフルアクセスできます。
パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。
［管理者パスワード］欄での入力後、TAB キーを押すと「｜」が［パスワードの確認入力］欄に移動します。「｜」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。

6 ［次へ］ボタンをクリックする

［このコンピュータをドメインに参加させますか？］画面が表示されます。
ドメインの設定は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合について説明します。

7 ［いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面が表示されます。［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面ではなく［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示されることもあります。
画面が表示される前に、［インターネット接続を確認しています］画面が表示されることがあります。そのまま次の画面が表示されるのをお待ちください。
インターネット接続の設定は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

8 ［省略］ボタンをクリックする

［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示された場合も、［省略］ボタンをクリックしてください。
［Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？］画面が表示されます。
マイクロソフト社へのユーザ登録は、市販の Windows XP を購入された場合のみ必要ですので、ここでは省略した場合について説明します。

9 ［いいえ、今回はユーザー登録しません］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

［このコンピュータを使うユーザーを指定してください］画面が表示されます。

10 ［ユーザー 1］欄に使う人の名前を入力する

［ユーザー 1］欄にポインタを合わせてクリックすると、「｜」（カーソル）が点滅します。

Windows XP では複数のユーザを設定し、それぞれのユーザごとに別々の環境を構築できますが、ここでは 1 人の名前だけ入力した場合について説明します。

メモ ローマ字入力で入力する場合

- 半角英数字で「dynabook」と入力したいときは、はじめにキーボードの(半／全)キーを押して、日本語入力システム Microsoft IMEの日本語入力モードをオフにしてから、(D)(Y)(N)(A)(B)(O)(O)(K)と押します。
  キーを押しても文字が表示されない場合は、［ユーザー］欄に「｜」（カーソル）が表示され点滅していることを確認してください。表示されていないときは、［ユーザー］欄をクリックしてください。
  文字の入力を間違えたら、(BACKSPACE)キーを押して入力ミスした文字を削除します。

11 ［次へ］ボタンをクリックする

［設定が完了しました］画面が表示されます。

12 ［完了］ボタンをクリックする

Windows のセットアップが終了するとパソコンが自動的に再起動します。

役立つ操作集

日付と時刻の設定

購入後初めてセットアップを終えたあとは、次の手順で日付と時刻を合わせてください。
日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限があるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、日付と時刻は必ず合わせてください。

①［スタート］ボタンをクリックし、表示されたメニューから［コントロールパネル］をクリックする
②［日付、時刻、地域と言語のオプション］をクリックする
③［日付と時刻］をクリックする
　［日付と時刻のプロパティ］画面が表示されます。
④［日付］欄の ▲ または ▼ をクリックして年号を合わせる
⑤［日付］欄の ▼ をクリックして月を合わせる
⑥［日付］欄のカレンダーで日をクリックする
⑦［時刻］欄の ▲ または ▼ をクリックして時刻を合わせる
　変更する時／分／秒をクリックしてから、▲ または ▼ をクリックします。
⑧［OK］ボタンをクリックする
　時刻は、画面右下の［通知領域］に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインタを合わせるとしばらくして表示されます。正しく設定されているかどうか確認してください。

Windows XP でわからない操作があったとき

Windows XP の使いかたについては、［スタート］→［ヘルプとサポート］をクリックして、『ヘルプとサポート センター』を参照してください。
Windows XP の最新情報やアップデートの情報は次のホームページから確認できます。

- Windows XP について
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/
- Windows XP のアップデート
  URL：http://windowsupdate.microsoft.com/

ドメインに接続する

＊ XP Pro モデルのみ

企業内など、ある 1 つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。
ここでは、本製品をドメインに参加させる方法を説明します。
ドメインのユーザ名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
本製品を複数のユーザで使用している場合は Administrator と呼ばれる管理者のユーザに切り替えてから設定を行ってください。

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

3 ［コンピュータの基本的な情報を表示する］をクリックする

［システムのプロパティ］画面が表示されます。

4 ［コンピュータ名］タブで［変更］ボタンをクリックする

5 ［ドメイン］の左にある○をクリックしてから接続するドメインの名前を入力し、［OK］ボタンをクリックする

6 ドメインの［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］ボタンをクリックする

7 ［OK］ボタンをクリックする

8 ［OK］ボタンをクリックする

パソコンを再起動してください。

使い終わったら －Windows Vistaの場合－

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る方法のほかに、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する方法があります。この機能を、「スリープ」と呼びます。
スリープ機能は、次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。その場合スリープ中でもバッテリを消耗しますので、AC アダプタを取り付けておくことを推奨します。
なお数日以上使用しないときや、付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合（増設メモリの取り付け／取りはずしや、バッテリパックの取り付け／取りはずしなど）は、スリープではなく、必ず電源を切ってください。

⚠警告

- **電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切ること**
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、ワイヤレスコミュニケーションスイッチを切った上で、必ずパソコンの電源を切ってください。
  スリープの状態では、プログラムされているタスクの処理を始めたり、作業中のデータを保存したりするためにパソコンのシステムが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、他のシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。

① スリープにする

パソコンの使用を中断する場合は、パソコンを「スリープ」にしましょう。スリープには、通常のスリープのほかに「ハイブリッドスリープ」という機能もあります。作業を中断している間にバッテリの残量が少なくなった場合などは、通常のスリープでは保存されていないデータは消失します。ハイブリッドスリープを有効にすると、データが保持されます。

参照 ハイブリッドスリープ 「本項 2 スリープ機能を強化する」

1 スリープの実行方法

1 ［スタート］ボタンをクリックする

2 ［電源］ボタンをクリックする

2 スリープ機能を強化する

Windows Vista には、通常のスリープのほかに「ハイブリッドスリープ」という機能が用意されています。
パソコンの使用を中断したとき、それまでの作業をメモリに保存するスリープに対して、ハイブリッドスリープはメモリとハードディスクの両方に保存します。
作業を中断している間にバッテリの残量が少なくなった場合などは、通常のスリープでは保存されていないデータは消失します。ハイブリッドスリープを有効にしておくと、ハードディスクから作業内容を復元できます。
ハイブリッドスリープを有効にしている状態でスリープを実行すると、ハイブリッドスリープとして機能します。
またスリープを実行してから一定時間が経過すると、自動的に休止状態に移行するようにも設定できます。

参照 休止状態 「Windows のヘルプ」

ハイブリッドスリープを有効にするには、次の手順で設定してください。

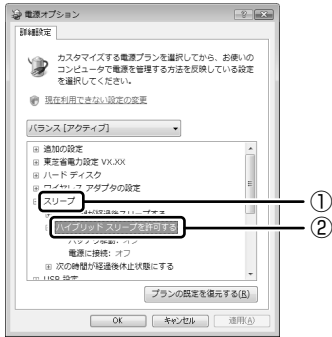
1 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする

2　**［バッテリ設定の変更］→選択している電源プランの［プラン設定の変更］をクリックする**

［プラン設定の変更］は、各電源プランの下に表示されています。選択している電源プランの下に表示されている［プラン設定の変更］をクリックしてください。
ハイブリッドスリープの設定は、電源プランごとに必要です。
［プラン設定の編集］画面が表示されます。

3　**［詳細な電源設定の変更］をクリックする**

［詳細設定］画面が表示されます。

4　**［スリープ］をダブルクリックし①、表示される項目から［ハイブリッドスリープを許可する］をダブルクリックする②**

5　**ハイブリッドスリープを有効にしたい状態をクリックする**

それぞれの項目は、次のようになります。
［バッテリ駆動］：バッテリ駆動時にハイブリッドスリープ機能を有効にしたい場合
［電源に接続］　：電源に接続してるときにハイブリッドスリープ機能を有効にしたい場合

6　**項目の横に表示された ▾ をクリックし①、表示されたメニューから［オン］をクリックする②**

7　**［OK］ボタンをクリックする**

これでハイブリッドスリープを有効にする設定は完了です。
この状態でスリープを実行すると、ハイブリッドスリープとして機能します。

役立つ操作集

一定時間の経過後、休止状態にする

スリープを実行してから一定時間が経過すると、自動的に休止状態に移行するよう設定できます。
［詳細設定］画面で［次の時間が経過後休止状態にする］をダブルクリックし、表示された項目を選択して▲ ▼で時間を設定してください。
スリープを実行してから設定した時間が経過すると、自動的に休止状態に移行します。

参照 休止状態「Windows のヘルプ」

② 電源を切る

数日以上パソコンを使わないときは、スリープではなく電源を切ってください。
間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

お願い　電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LED、ディスクトレイ LED、またはメディアの LED が点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックする

2 ボタンをクリックし①、表示されたメニューから［シャットダウン］をクリックする②

Windows を終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power LED が消灯します。

お願い　電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

■再起動
Windows を終了したあと、すぐにもう 1 度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、電源を切る操作の手順 2 で、［再起動］をクリックしてください。

5 使い終わったら－Windows XPの場合－

① 電源を切る

パソコンの電源を切るときは、まずWindowsを終了し、そのあとパソコン本体の電源を切ります。
電源を切る手順を覚えましょう。
間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LED、ディスクトレイLED、またはメディアのLEDが点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

XP Proモデルでドメイン参加している場合、［終了オプション］は［シャットダウン］と表示されます。

［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。

2 ［電源を切る］をクリックする

XP Proモデルでドメイン参加している場合は、［Windowsのシャットダウン］画面で ボタンをクリックし①、［シャットダウン］を選択し②、［OK］ボタンをクリックしてください。

参照 ドメインについて 「Windowsのヘルプ」

Windowsを終了したあと、パソコン本体の電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power ⏻ LEDが消灯します。

お願い 電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

② スタンバイ／休止状態

パソコンの使用を一時的に中断したいとき、スタンバイまたは休止状態にすると、パソコンの使用を中断したときの状態が保存されます。
再び処理を行う（電源スイッチを押す、ディスプレイを開くなど）と、パソコンの使用を中断したときの状態が再現されます。

⚠警 告

- **電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切ること**
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、ワイヤレスコミュニケーションスイッチを切った上で、必ずパソコンの電源を切ってください。
  スタンバイや休止状態では、プログラムされているタスクの処理を始めたり、作業中のデータを保存したりするためにパソコンのシステムが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、他のシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。

お願い　操作にあたって

中断する前に

- スタンバイまたは休止状態を実行する前にデータを保存することを推奨します。
- スタンバイまたは休止状態を実行するときは、メディアへの書き込みが完全に終了していることを確認してください。書き込み途中のデータがある状態でスタンバイまたは休止状態を実行したとき、データが正しく書き込まれないことがあります。メディアを取り出しできる状態になっていれば書き込みは終了しています。

中断したときは

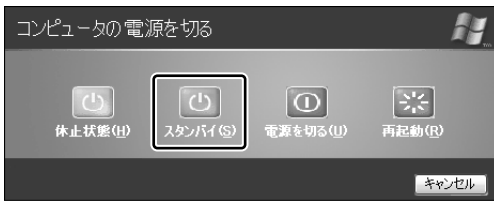
- スタンバイ中に次のことを行わないでください。次回電源を入れたときに、システムが起動しないことがあります。
  ・スタンバイ中にメモリの取り付け／取りはずしをすること
  ・スタンバイ中にバッテリパックをはずすこと
  また、スタンバイ中にバッテリ残量が減少したときも同様に、次回起動時にシステムが起動しないことがあります。
  システムが起動しないときは、電源スイッチを５秒以上押していったん電源を切ったあと、もう一度電源を入れてください。この場合、スタンバイ前の状態は保持できていません（ResumeFailure で起動します）。
- スタンバイ中や休止状態では、バッテリや周辺機器（増設メモリなど）の取り付け／取りはずしは行わないでください。保存されていないデータは消失します。また、感電、故障のおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を利用しないときは、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。
- パソコン本体を航空機や病院に持ち込むとき、スタンバイを使用しないで、必ず電源を切ってください。スタンバイ状態のまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器や医療機器に影響を与えることがあります。

1 スタンバイの実行方法

スタンバイとは、作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。
スタンバイはすばやく状態が再現されますが、休止状態よりバッテリを消耗します。バッテリを使い切ってしまうと保存されていないデータは消失するので、AC アダプタを取り付けて使用することを推奨します。

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

XP Pro モデルでドメイン参加している場合、［終了オプション］は［シャットダウン］と表示されます。

2 ［スタンバイ］をクリックする

XP Pro モデルでドメイン参加している場合は、［Windows のシャットダウン］画面で ボタンをクリックし、［スタンバイ］を選択して［OK］ボタンをクリックしてください。

メモリへの保存が終わると、画面が真っ暗になります。

3 Power ⏻ LED がオレンジ点滅しているか確認する

- FN＋F3キーを押して、スタンバイを実行することもできます。

2 休止状態の実行方法

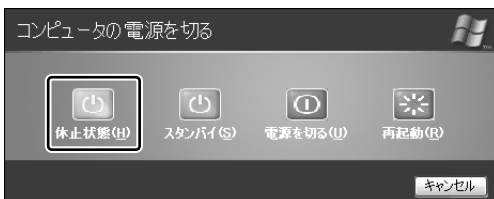
休止状態とは、作業を中断したときの状態をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、状態を復元できます。
購入時の設定では、バッテリが消耗すると、パソコン本体は自動的に休止状態になります。休止状態が無効な場合はそのまま電源が切れるため、作業中のデータが消失するおそれがあります。バッテリ駆動（AC アダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることを推奨します。
購入時は、休止状態が有効に設定されています。

1 休止状態を有効に設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
② ［電源オプション］をクリックする
③ ［休止状態］タブで［休止状態を有効にする］をチェックする
④ ［OK］ボタンをクリックする
休止状態が有効になります。

2 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

XP Pro モデルでドメイン参加している場合、［終了オプション］は［シャットダウン］と表示されます。

3 ［休止状態］をクリックする

XP Pro モデルでドメイン参加している場合は、［Windows のシャットダウン］画面で ボタンをクリックし、［休止状態］を選択して［OK］ボタンをクリックしてください。

- FN＋F4キーを押して、休止状態にすることもできます。

③ 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する

［スタート］メニューから操作せずに、電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源オフ)、またはスタンバイ／休止状態にすることができます。
休止状態にするには、あらかじめ設定が必要です。購入時は、休止状態が有効に設定されていますが、解除した場合は「本節 ②-1 手順 1」を参照して、設定してください。

1 電源スイッチを押す

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック➡［東芝省電力］をクリックする
② ［アクション設定］タブの［電源ボタンを押したとき］で［入力を求める］［スタンバイ］［休止状態］［シャットダウン］のいずれかを選択する
　［何もしない］に設定すると、特に変化はありません。
③ ［OK］ボタンをクリックする

2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。
手順 1 の②で［入力を求める］を選択したときは、［Windows のシャットダウン］画面または［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。［何もしない］を選択したときは、電源スイッチを押しても何も動作しません。

2 ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じることによって［スタンバイ］［休止状態］のうち、あらかじめ設定した状態へ移行する機能を、パネルスイッチ機能といいます。購入時には［休止状態］に設定されています。変更する場合は次の手順を行ってください。

1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック➡［東芝省電力］をクリックする
② ［アクション設定］タブの［コンピュータを閉じたとき］で［スタンバイ］［休止状態］のいずれかを選択する
　［何もしない］に設定すると、パネルスイッチ機能は働きません。
③ ［OK］ボタンをクリックする

2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。
手順 1 の②で［スタンバイ］または［休止状態］を選択したときは、次にディスプレイを開くと、自動的に状態が再現されます。

6 画面で見るマニュアル

Windowsが起動しているときに、《オンラインマニュアル》をパソコン画面上で見ることができます。
《オンラインマニュアル》には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。

次のように操作すると、「Adobe Reader」が起動し、《オンラインマニュアル》が表示されます。
初めて「Adobe Reader」を起動したときは、［ソフトウェア使用許諾契約書］画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。［同意する］ボタンをクリックしないと、「Adobe Reader」をご使用になれません。また、《オンラインマニュアル》を見ることはできません。

起動方法

1 デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリックする

《オンラインマニュアル》が起動します。

メモ

- 『取扱説明書』や『セットアップガイド（本書）』の内容も、パソコンの画面上で見ることができます。東芝PC総合情報サイト「dynabook.com（http://dynabook.com/pc/）」からダウンロードしてください。
  モデルによっては、［スタート］→［すべてのプログラム］→［マニュアル］メニューから起動することもできます。

Windows XPを使用するにあたって

本製品をWindows XPで使用する場合、《オンラインマニュアル》で紹介しているものと一部異なります。
ここでは、操作や仕様が異なるおもなアプリケーションの説明をします。システムやお使いのモデルのソフトウェア環境によっては、このほかにも各種説明書や《オンラインマニュアル》に記載された内容とは、一部動作が異なる場合があります。

「東芝省電力」について

「東芝省電力」は、次の手順で起動してください。

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

3 ［東芝省電力］をクリックする

使いかたについては、ヘルプをご覧ください。

「東芝HWセットアップ」について

「東芝HWセットアップ」は、次の手順で起動してください。

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

3 ［東芝HWセットアップ］をクリックする

使いかたについては、ヘルプをご覧ください。

「TOSHIBA Recovery Disc Creator」のインストールについて

「TOSHIBA Recovery Disc Creator」をはじめて使用するときは、モデルによってインストールが必要です。次の手順でインストールしてください。

＊ Windows XPの場合、リカバリCD-ROM／リカバリDVD-ROMが付属しているモデルではリカバリディスクを作成できません。

【インストール方法】

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

3 ［東芝ユーティリティ］タブをクリックする

4 画面左側の「Toshiba Recovery Disc Creator」をクリックする

5 画面の指示に従ってインストールする

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

「Fn-esse」について

「Fn-esse」というアプリケーションの起動を簡単にするアプリケーションが用意されています。FNキーと特定のキーを押すことで、アプリケーションの起動をできるようにすることが可能です。あらかじめ特定のキーと起動するアプリケーションの設定が必要です。
起動するには、［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［Fn-esse］をクリックしてください。
「Fn-esse」でFN＋1キーまたはFN＋2キーに何かの動作を登録していても、「TOSHIBA Smooth View」がインストールされていると使用できなくなります。

キーを使った便利な機能

各キーにはさまざまな機能が用意されています。いくつかのキーを組み合わせて押すと、いろいろな操作が実行できます。

【 FNキーを使った特殊機能キー 】

キー	内容
FN+ESC	スピーカのミュート（消音）
FN+SPACE	本体液晶ディスプレイの解像度切替え
FN+TAB＊1	ドライブの電源オン／オフ機能
FN+F1	インスタントセキュリティ（画面オフ）機能
FN+F2	省電力モードの設定
FN+F3	スタンバイ機能の実行
FN+F4	休止状態の実行
FN+F5	表示装置の切替え
FN+F6	本体液晶ディスプレイの輝度を下げる
FN+F7	本体液晶ディスプレイの輝度を上げる
FN+F8＊1	無線通信機能の切替え
FN+F9	タッチパッド オン／オフ機能
FN+F10	キー前面左に印刷された、制御キーオン／オフ
FN+F11	キー前面右に印刷された文字の入力オン／オフ
FN+F12	スクロールロック状態
FN+↑	PGUP（ページアップ）
FN+↓	PGDN（ページダウン）
FN+←	HOME（ホーム）
FN+→	END（エンド）
FN+1＊2	画面やアイコンなどの縮小
FN+2＊2	画面やアイコンなどの拡大

＊1 モデルによって、この機能はサポートしておりません。
＊2「TOSHIBA Smooth View」をインストールしている場合のみ、使用できます。

【 特殊機能キー 】

特殊機能	キー	操作
タスクマネージャの起動	CTRL+ALT+DEL	［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。＊1 アプリケーションやシステムの強制終了を行います。
画面コピー	PRTSC	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	ALT+PRTSC	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

＊1 XP Pro モデルでドメインに参加しているとき、ユーザアカウントで「ようこそ画面を使用する」のチェックをはずした場合には、［Windows のセキュリティ］画面が表示されますので、［タスクマネージャ］ボタンをクリックしてください。

書き込みに使用できるアプリケーションについて

書き込みに使用できるアプリケーションとして「TOSHIBA Disc Creator」のほかに「TOSHIBA Direct Disc Writer」が用意されています。
「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使用すると、[マイ コンピュータ]で目的のファイルやフォルダをドライブにコピーすることで、DVD-RAM、DVD-RW、DVD+RW、CD-RWに書き込むことができます。
各メディアのフォーマットをする場合は、「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」を使用してください。
詳しくは、「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプを参照してください。
「TOSHIBA Direct Disc Writer」をはじめて使用するときは、インストールが必要です。

【インストール方法】

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アプリケーションの再インストール]をクリックする**
2. **[セットアップ画面へ]をクリックする**
3. **[東芝ユーティリティ]タブをクリックする**
4. **画面左側の[TOSHIBA Direct Disc Writer]をクリックし、[「TOSHIBA Direct Disc Writer」のセットアップ]をクリックする**
5. **画面の指示に従ってインストールする**

【「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプの起動方法】

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[TOSHIBA]→[CD&DVDアプリケーション]→[Direct Disc Writer ヘルプ]をクリックする**

お願い 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために

＊「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うには、下記以外にもお願い事項があります。
『オンラインマニュアル』の付録に記載されている「CD／DVDに書き込む前に」とあわせてご覧ください。

- CD／DVDをフォーマットすると、CD／DVD上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマット／書き込みしたメディアをほかのパケットライトソフトでは使用しないでください。また、ほかのパケットライトソフトでフォーマット／書き込みしたメディアに、「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込みは行わないでください。ほかのパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用する場合は、「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
- ファイルやフォルダの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダが消失することがあります。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込んだDVD-RWメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」がインストールされていないパソコンで読み出すには、DVD-RWメディアを「互換化」する必要があります。詳しくは「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプをご覧ください。DVD+RW、CD-RWメディアについては、「互換化」する必要はありません。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットされたメディア上にプログラムのセットアップファイルなどを保存し、そのメディア上からセットアップを実行しようとしたとき、エラーが発生することがあります。その場合は、セットアップに必要なファイルなどをいったんハードディスク上にコピーした状態で、ハードディスク上からセットアップを実行してください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」でCD-RW、DVD-RW、DVD+RWメディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。

「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使用する際は、ヘルプの「仕様および注意事項」をよくお読みください。

スーパーバイザパスワードについて

スーパーバイザパスワードを起動するときは、［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックして、「C:¥Program Files¥TOSHIBA¥Windows Utilities」フォルダにある「¥SVPWTooL¥SVPW32.exe」か「¥SVPWTool¥TOSPU.exe」、または「¥SVPWUTIL.exe」を起動してください。

使用できないアプリケーションについて

《オンラインマニュアル》をはじめとする各種説明書に記載されている以下のアプリケーションは、OS が Windows XP の場合は使用できません。

●TOSHIBA Flash Cards
●ササッとサーチ

2章

パソコンの動作がおかしいときは

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかをQ&A形式で説明しています。

Q&A集

電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押しても反応しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

Power LED が点灯するまで押し続けてください。

Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

(Battery LED がオレンジ色に点滅しているとき)

A バッテリの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について《オンラインマニュアル》

(DC IN LED がオレンジ色に点滅しているとき)

A 電源の接続の接触が悪い可能性があります。

バッテリパックや AC アダプタを接続し直してください。

参照 バッテリパックの取り付け／取りはずし『取扱説明書』

参照 AC アダプタの接続『取扱説明書』

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

A パソコン本体からいったん、電源コードと AC アダプタ、バッテリパックをすべて取りはずしてください。

①電源コードと AC アダプタを取りはずす
パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
②バッテリパックを取りはずす
電源コードと AC アダプタ、バッテリパックを取りはずすと、電源が入らない状態になります。
そのままの状態で、しばらく放置してください。
③バッテリパックを取り付ける
④電源コードと AC アダプタを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
⑤電源を入れる

参照 電源コードと AC アダプタの接続『取扱説明書』

参照 バッテリパックの取り付け／取りはずし『取扱説明書』

以上の手順でも解決できない場合は、保守サービスに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。

システムが入っているメディアと取り替えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

①F12キーを押しながら電源スイッチを押し、［TOSHIBA］または製品ロゴ画面が表示されたら手をはなす
②表示されたアイコンまたはメニューの中からシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクドライブ）を←→キーまたは↑↓キーで選択し、ENTERキーを押す

A セーフ モードまたは前回正常に起動したときの構成で起動しなおすことができます。

電源スイッチを5秒以上押して強制終了したあと、起動しなおしてください。
起動方法については、『取扱説明書』を参照してください。

Q 使用中に前触れもなく突然電源が切れることがある

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

A バッテリ駆動で使用している場合、バッテリの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について《オンラインマニュアル》

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LED が点灯（点滅ではなく）している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。（Pewer LED の色はモデルによって異なります）

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
SHIFTキーやCTRLキーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10 秒前後かかることがあります。

A Power LED がオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープまたはスタンバイや休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープまたはスタンバイや休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

Windows Vista の場合
①［コントロールパネル］を開き、［システムとメンテナンス］をクリックする
②［電源オプション］をクリックする
③［電源プランの選択］で利用するプランを選択する
④選択したプランの［プラン設定の変更］をクリックし、［ディスプレイの電源を切る］および［コンピュータをスリープ状態にする］で［なし］を選択する
⑤［変更の保存］ボタンをクリックする

Windows XP の場合
①［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
②［東芝省電力］をクリックする
③［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する
④［基本設定］タブで［システムスタンバイ］および［システム休止状態］のチェックをはずす
⑤［OK］ボタンをクリックする

指紋認証

＊ 指紋センサ搭載モデルのみ

Q 指紋の読み取りがうまくいかない

A もう一度正しい姿勢で操作してください。

詳しい操作方法は、『取扱説明書』《オンラインマニュアル》または指紋認証ユーティリティのヘルプを参照してください。

A 登録してあるもう 1 本の指で読み取りを行ってください。

A どうしてもうまくいかない場合は、一時的にキーボードからパスワードを入力してください。

詳しい操作方法は、『取扱説明書』《オンラインマニュアル》または指紋認証ユーティリティのヘルプを参照してください。

Q 指にケガをしたため 指紋の読み取りができなくなった

A 登録してあるもう 1 本の指で読み取りを行ってください。

A 登録したすべての指の指紋が読み取れない場合は、一時的にキーボードからパスワードを入力してください。

詳しい操作方法は、『取扱説明書』《オンラインマニュアル》または指紋認証ユーティリティのヘルプを参照してください。

Q 認識率が下がったら

A 指紋センサの表面がよごれていないか確認してください。

よごれている場合には、眼鏡ふき（クリーナークロス）などの柔らかい布で軽くふき取ってからもう一度指紋認証を行ってください。

参照 詳細について
『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

A 指の状態を確認してください。

指に傷があったり、手荒れ、極端に乾燥した状態、ふやけた状態など、指紋登録時と状態が異なると認識できない場合があります。認識率が改善されない場合は、ほかの指で登録してください。

参照 詳細について
『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

A 指の置きかたを確認してください。

指を指紋センサと平行になるように置き、指紋センサに指の中央を合わせてください。指紋センサの上に第 1 関節がくるように置き、すべらせるときはゆっくりと一定の速さですべらせてください。それでも認証できない場合は、指をすべらせる速さを調整してください。

参照 詳細について
『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

TPM

＊ TPM搭載モデルのみ

Q 誤ってTPMを初期化してしまった

A 緊急時バックアップアーカイブファイルと緊急時復元用トークンファイルを使用して、TPMの設定を復元してください。

参照 TPM 『Trusted Platform Module取扱説明書』

Q TPMを使用しているパソコンを、修理・保守に出したい

A TPMを使用している場合、修理・保守に出す前に、次の項目を実行または確認してください。

- ハードディスクドライブの必要なデータをバックアップにとる
- PSDの内容を、別途外部記憶メディアにバックアップをとる
- ハードディスクドライブに緊急時バックアップアーカイブファイルを作っている場合は、外部記憶メディアにバックアップをとる
- Security Platform初期化ウィザード設定時に作成した緊急時復元用トークンファイルがあるか確認する
- 控えておいた「所有者パスワード」、「緊急時復元用トークン」用のパスワードを確認する

なお、修理・保守に出すと、TPMに故障がなくても、TPMが交換される場合があります。
交換されたり、TPMが初期化された場合、Windowsにログオンしたあと（ハードディスクドライブには障害や問題がなくWindowsへログオンできる場合）、通知領域の［Security Platform］アイコンにTPMが初期化されていない内容のメッセージが表示されます。
その場合は、緊急時バックアップアーカイブファイル、緊急時復元用トークンファイルを使って、TPMの設定を復元してください。

参照 TPM 『Trusted Platform Module取扱説明書』

保守サービスについては、「4章 2 アフターケアについて」と『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

メッセージ

Q 「Password=」と表示された

A パスワードの入力、またはトークン＊1による認証が必要です。

次のいずれかの操作を行ってください。

- パスワードを入力し、(ENTER)キーを押す
  あらかじめ「東芝パスワードユーティリティ」でパスワードファイルを外部記憶メディアに保存しておくと、パスワードを忘れた場合に確認できます。ほかのパソコンの「メモ帳」などでパスワードファイルを開き、確認したパスワードを入力してください。
- あらかじめ「東芝パスワードユーティリティ」で作成したトークン＊1をブリッジメディアスロットまたはSDカードスロットに挿入し、認証を行う

＊1　トークン機能搭載モデルのみ

上記の方法を実行できない場合は、使用している機種を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。この場合、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

参照 パスワードについて 《オンラインマニュアル》

Q 「HDD Password=」と表示された

A パスワードの入力による認証が必要です。

パスワードを入力し、(ENTER)キーを押してください。

HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合は有償になり、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

参照 パスワードについて 《オンラインマニュアル》

Q 「パスワードを入力して下さい。」または「現在のパスワードを入力してください。」と表示された

A 「東芝HWセットアップ」またはBIOSセットアップで設定したパスワードを入力し、(ENTER)キーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「HDDパスワードを入力して下さい。」または「HDDパスワードモード：」または「HDD1のユーザパスワードの入力」と表示された

A BIOSセットアップで設定したHDDパスワードを使って認証を行ってください。

次の操作を行ってください。

①HDDパスワードを入力し、ENTERキーを押す

HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合は有償です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 電源を入れたとき、次のような指紋認証のメッセージが表示された

＊ 指紋センサ搭載モデルのみ

- 「Swipe finger to authorize access, or press BACKSPACE to enter the BIOS password.」
- 「認証のため指でセンサーをなぞってください BIOSパスワードを入力するためには、バックスペースを押してください」

A 指紋認証が必要です。

「指紋認証ユーティリティ」でパワーオンセキュリティ機能またはPre-OS指紋認証機能を有効に設定していると、パスワードを設定している場合に表示される「Passward =」または「パスワードを入力して下さい。」というメッセージの代わりに、指紋認証を行う画面が表示されます。指紋認証を行うと、パワーオンセキュリティ機能またはPre-OS指紋認証機能によってパスワードの認証が行われます。
認証を5回失敗する、またはBACKSPACEキーを押すと、「Password =」または「パスワードを入力して下さい。」が表示されます。
指紋認証について詳しくは、《オンラインマニュアル》または指紋認証ユーティリティのヘルプを参照してください。

Q 起動時に「Windows再開ローダ」が表示され、Windowsが起動しない

＊ Windows Vistaのみ

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。
電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

①「Windows再開ローダ」で「復元データを削除してシステムブートメニューに進む」が反転表示していることを確認し、ENTERキーを押す
②「Windowsエラー回復処理」で「Windowsを通常起動する」が反転表示していることを確認し、ENTERキーを押す
　Windowsが起動します。

Q 「New Password=」と表示された

A 新しいパスワードに登録／変更してください。

「東芝パスワードユーティリティ」の［スーパーバイザパスワード］タブで、［ユーザポリシーの設定］画面の［ユーザパスワードの登録／変更を強制する］をチェックすると、次のように設定されます。

・ユーザパスワードが登録されていない場合設定後の1回目の起動時に、「New Password=」と表示されます。
　ユーザパスワードの登録を行ってください。
・ユーザパスワードが登録されている場合

設定後の起動時の「Password=」で、ユーザパスワードを初めて入力したときに、「New Password=」と表示されます。
新しいユーザパスワードに変更してください。
「Verify Password=」に「New Password=」で入力したパスワードをもう一度入力すると、ユーザパスワードが登録／変更されます。
スーパーバイザパスワードについて詳しくは、《オンラインマニュアル》を参照してください。

Q 「パスワードを忘れてしまいましたか？」「パスワードが誤っています。」と表示された

A 入力モードの状態により大文字／小文字を誤って入力した可能性があります。

Caps Lock LEDを確認してください。必要に応じてSHIFT＋CAPS LOCK 英数キーを押して入力の状態を切り替え、もう1度入力してください。

Q 画面が青くなり、次のようなメッセージが画面一面に表示された

- 「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

①電源スイッチを5秒以上押し、パソコンを強制終了する
②再び電源スイッチを押して、パソコンを再起動する
　「システムを前の場所から再起動できませんでした。」というメッセージが表示されます。
③「復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます」が反転表示していることを確認し、ENTERキーを押す
　Windowsが起動します。

Q 起動時に「RTC battery is low or CMOS checksum is inconsistent」「Press[F1] Key to set Date/Time.」と表示され、Windows が起動できない

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、AC アダプタを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて《オンラインマニュアル》

AC アダプタを接続後、次の手順で BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

①（F1）キーを押す
BIOS セットアップ画面が表示されます。
②（↑）（↓）（←）（→）キーを使って、［SYSTEM DATE/TIME］の［Date］を選択し、（SPACE）キーで日付を設定する
③手順②と同様に［Time］で時刻を設定する
④（FN）＋（→）キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
⑤（Y）キーを押す
設定内容が有効になり、BIOS セットアップが終了します。
パソコンが再起動します。

Q 起動時に「ERROR 0271：Check data and time settings …Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windows が起動できない

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、AC アダプタを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて《オンラインマニュアル》

AC アダプタを接続後、次の手順で BIOS セットアップの日付と時刻を設定してください。

①（F2）キーを押す
BIOS セットアップ画面が表示されます。
②［メイン］メニューの［言語：］で［日本語（JP）］を選択する
③（F9）キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
④［はい］を選択し、（ENTER）キーを押す
BIOS セットアップが標準設定の状態になります。
⑤［メイン］メニューの［システム時刻：］で時刻を設定する
⑥［メイン］メニューの［システム日付：］で日付を設定する
⑦（F10）キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
⑧［はい］を選択し、（ENTER）キーを押す
BIOS セットアップが終了し、パソコンが再起動します。

Q 起動時に The firmware has detected that a CMOS battery failure occured. <F1> continue_」と表示され、Windows が起動できない

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、AC アダプタを接続して電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて《オンラインマニュアル》

AC アダプタを接続後、次の手順で日付と時刻を設定してください。

①（F1）キーを押す
Windows が起動します。
②［コントロールパネル］を開く
③ Windows Vista の場合
［時計、言語、および地域］をクリック→［日付と時刻］をクリックする

Windows XP の場合
［日付、時刻、地域と言語のオプション］をクリック→［日付と時刻を変更する］をクリックする
日付と時刻を設定する画面が表示されます。
④日付と時刻を合わせる
⑤［OK］ボタンをクリックする

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Update やアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について
「1 章 3 Windows セットアップ」

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing
Press any key to restart」

A フロッピーディスクなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝 PC サポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝 PC あんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

その他

Q ハードディスクから リカバリできなくなったときは

＊ Windows VistaのHDDリカバリ機能搭載モデルのみ

A ハードディスクドライブに内蔵されているリカバリ（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリができなくなることがあります。
「TOSHIBA Recovery Disc Creator」で作成したリカバリディスクを使って、リカバリしてください。

参照 リカバリの操作方法
「3章 2-③ リカバリディスクからリカバリをする」

リカバリディスクがない場合は、修理が必要になる可能性があります。購入店、または保守サービスに相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて
『東芝PCサポートのご案内』

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリパックをパソコン本体から取りはずしてから購入店、または保守サービスに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理のお問い合わせについて
『東芝PCサポートのご案内』

Q 画面表示が回転してしまった

A (CTRL)＋(ALT)＋(↑)キーを押してください。
正常な画面表示に戻ります。

Q このQ&A集を読んでも解決できない

A このほかにもいろいろな解決方法があります。

1《オンラインマニュアル》を見る
このQ&A集は、パソコンの電源が入らないなど、《オンラインマニュアル》を見られない状況でのQ&Aのみ記載しています。《オンラインマニュアル》の「Q&A」には、このほかにも困ったことが起きた場合の対処方法を記載しています。

2「dynabook.com」の「よくあるご質問FAQ」を調べる
インターネットに接続できるときは、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」でサポート情報を見てください。お問い合わせの多い質問やホットなQ&Aが掲載されています。
「A．回答・対処方法」の説明を読んでも問題が解決しない場合は、説明のあとのアンケートに引き続き、質問メールを出すこともできます。
＊ メールでの質問には「お客様登録」が必要です。

3 東芝PCあんしんサポートに電話する
パソコン本体のトラブルは、東芝PCあんしんサポートでお答えします。『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

参照 東芝PCあんしんサポート
『東芝PCサポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先
『取扱説明書』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先
『周辺機器に付属の説明書』

3 章

買ったときの状態に戻すには －リカバリ－

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリ」について説明しています。リカバリを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

1 リカバリとは

リカバリ（再セットアップ）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう 1 度ご購入時の状態に復元する作業です。また OS を Windows Vista から Windows XP に変更したり*1、逆に Windows XP から Windows Vista に変更する*2 こともできます。OS を変更する方法は、「本章 2-③ リカバリディスクからリカバリをする」を参照してください。
リカバリをするとハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windows ログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

＊1　Windows XP のリカバリ DVD-ROM ／ CD-ROM が付属しているモデルのみ
＊2　Windows Vista のリカバリ DVD-ROM ／ CD-ROM が付属しているモデルのみ

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときや、OS を変更したいときにリカバリをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピュータウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*3
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝 PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリが必要」と診断された

＊3　アプリケーションが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

 メモ

- OS を変更すると、プレインストールアプリケーションの構成が一部変更になります。

① リカバリをする前に確認すること

パソコンの動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。リカバリをしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、リカバリを実行してください。

1 ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

本製品に用意されているウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかどうかを確認してください。ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。そのときは、リカバリを実行してください。

2 セーフ モードで起動できるか実行してみる

Windows が起動できないときは、セーフ モードで起動してみてください。セーフ モードでは、最低限の機能で Windows を起動させることができます。
起動方法については、『取扱説明書』を参照してください。
セーフ モードで起動できた場合は、リカバリをする前に「東芝 PC あんしんサポート」にご相談ください。

3 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

増設メモリや USB 対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再度確認してみてください。また、電源関連のトラブルの場合は、バッテリをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してみてください。

参照　機器の取りはずし　『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

4 ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、《オンラインマニュアル》で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも解消できないときに、リカバリをしてください。

② リカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM について

本製品にはモデルによって、リカバリ DVD-ROM またはリカバリ CD-ROM が付属しています。
リカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM はリカバリするときに使用します。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。
また、リカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM は本製品専用です。ほかのパソコンでリカバリしないでください。

参照 詳細について 「本章 2 リカバリ＝再セットアップする」

③ リカバリをはじめる前にしておくこと

リカバリをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

1 準備するもの

- 『セットアップガイド』（本書）
- 巻末のリカバリ（再セットアップ）チェックシートをコピーしたもの
- リカバリディスク（作成したリカバリディスクからリカバリする場合）
- リカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM（付属しているモデルの場合）

2 必要なデータのバックアップをとる

リカバリをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、ハードディスクに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、外部記憶メディア（CD や USB フラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊ OS を変更した場合、バックアップをとったデータが一部使用できない場合があります。

- ドキュメントまたはマイドキュメントのデータ
- デスクトップに保存したデータ
- インターネットエクスプローラのお気に入り
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- お客様がインストールされたアプリケーションのデータ
- お客様が作成されたフォルダとファイル

また、リカバリ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

＊ OS を変更した場合、控えておいた設定が一部使用できない場合があります。

ただし、ハードディスクをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合や、電源を入れてもシステムが起動しなくなってからでは、バックアップをとることができません。また、リカバリを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。
バックアップは、普段から定期的に行っておくことを推奨します。

3 アプリケーションのセットアップ用メディアを確認する

「Microsoft Office」や、購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンタなどの周辺機器のドライバは、リカバリ後にインストールする必要があります。
これらを再度インストールするためのメディア（CD など）が、お手元にあることを確認してください。
また、アプリケーションによっては、再度インストールするときに ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

4 各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsログオン時のアカウント名などの設定項目を、メモなどに控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、有償で購入した認証キーなどがセットアップ時に必要なアプリケーションは、それらの番号を控えておいてください。確認方法は各アプリケーションのヘルプやお問い合わせ先にご確認ください。

5 音量を調節する

リカバリ後、Windowsセットアップが終了するまで音量の調節はできません。
あらかじめ音量を調節してください。FN＋ESCキーを使って、内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にしている場合は、もう一度FN＋ESCキーを押して元に戻しておいてください。

6 周辺機器をすべて取りはずす

増設メモリやUSB対応機器など、パソコン本体に取り付けている物は、ACアダプタのケーブル以外すべて取りはずしてください。
このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリができなくなることがあります。

リカバリ=再セットアップをする

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションを復元する方法について説明します。
本製品のリカバリは、ユーザ権限に関わらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリを実行されないよう、ユーザパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザパスワード《オンラインマニュアル》

① いくつかあるリカバリ方法

リカバリには、次の方法があります。

【 リカバリDVD-ROM／リカバリCD-ROMが付属していないモデル 】

＊ Windows Vistaのみ

- ハードディスクドライブからリカバリをする
- 作成したリカバリディスクからリカバリをする

通常はハードディスクドライブからリカバリをしてください。
リカバリディスクからのリカバリは、ハードディスクドライブのリカバリ（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからリカバリができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリディスクからリカバリをする場合は、《オンラインマニュアル》を確認して、リカバリディスクを用意してください。

【 リカバリDVD-ROM／リカバリCD-ROMが付属しているモデル 】

- 付属のリカバリDVD-ROM／リカバリCD-ROMからリカバリをする

② ハードディスクからリカバリをする

＊ Windows VistaのHDDリカバリ機能搭載モデルのみ

ハードディスクのリカバリツールでは、次のメニューのなかからリカバリ方法を選択することができます。あらかじめリカバリ方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ご購入時の状態に復元■
ハードディスクをパソコンを購入したときの状態に戻し、購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。購入後に作成したデータや設定などは消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元■（推奨）
パーティションサイズを変更して使用していた場合、そのパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。Cドライブに保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータや設定は、そのまま残ります。ただし、BIOS情報やコンピュータウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、Cドライブ以外の領域にあるデータも使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元■
Cドライブ（ハードディスク）のサイズを指定して復元することができます。Cドライブ以外のハードディスクの領域は一つの領域になり、データや設定などはすべて消去されます。

メモ

- ドライブ内蔵モデルの場合、リカバリは、ドライブにメディアをセットしていない状態で実行してください。ドライブにメディアがセットされていると、エラーになる場合があります。
- どのメニューを選択しても、Cドライブにはリカバリツールから購入時と同じシステムが復元されます。

ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

1 **パソコンの電源を切る（シャットダウン）**

2 **ACアダプタと電源コードを接続する**

3 **⓪（ゼロ）キーを押しながら電源スイッチを押し、[TOSHIBA] または製品ロゴ画面が表示されたら手をはなす**

ユーザパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。
ユーザパスワードを入力して(ENTER)キーを押してください。
メッセージが表示されます。

4 **画面の内容を確認し、[はい] ボタンをクリックする**

[復元方法の選択] 画面が表示されます。

5 **[初期インストールソフトウェアの復元] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする**

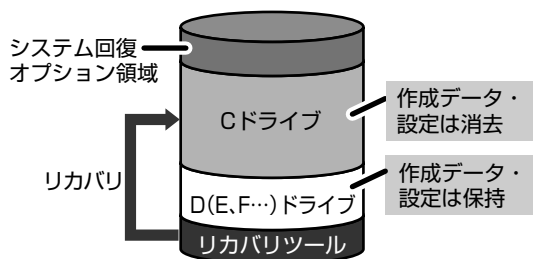
[ハードディスク上の全データの消去] は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、リカバリツールの領域以外のすべてのデータが削除されます。

参照 ハードディスクの消去について 「4 章 3-2 ハードディスクの内容をすべて消去する」

6 **[パーティションサイズを変更せずに復元] をチェックし、[次へ] ボタンをクリックする**

[パーティションサイズを変更せずに復元] を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
ほかのメニューを選択した場合については、次のページを参照してください。

- [ご購入時の状態に復元] ：P.43
- [パーティションサイズを指定して復元]：P.43

● 「パーティションサイズを変更せずに復元」とは
「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。C ドライブがリカバリされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

C ドライブ（ ■ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

（ハードディスクの領域を分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

● [ご購入時の状態に復元] と [パーティションサイズを変更せずに復元] は、リカバリツールとシステム回復オプションの領域が確保されているため、ハードディスクの 100%を使用することはできません。

7 **[次へ] ボタンをクリックする**

処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

[次へ] ボタンをクリックすると復元が実行され、[パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。
長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、リカバリの経過に従い、画面が変わります。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 **[終了] ボタンをクリックする**

システムが再起動し、Windows のセットアップ画面が表示されます。

9 **Windows のセットアップを行う**

参照 詳細について 「1 章 3 Windows セットアップ」

- 一部のアプリケーションは、リカバリ後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

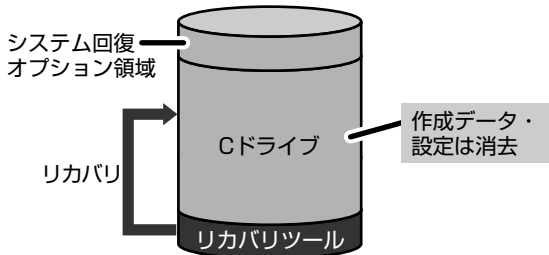
参照 詳細について 「本章 3-② アプリケーションを再インストールする」

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

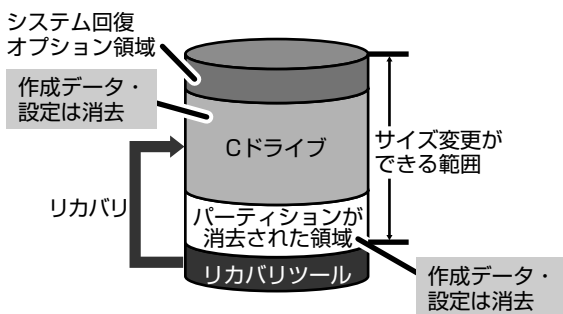
［初期インストールソフトウェアの復元］画面のリカバリメニューについて

「本節 ② ハードディスクからリカバリをする」の手順６の［初期インストールソフトウェアの復元］画面で表示されるリカバリメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元■
パソコンを購入したときの状態に戻します（モデルによって、ご購入時のパーティションの状態は異なります）。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

手順６のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元 ■
ハードディスク（C ドライブ）のサイズを変更します。
C ドライブ以外の領域区分（パーティション） は消去され、1 つの領域になります。その領域（ ）は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。
［システム回復オプション］のチェックをはずしてリカバリを行うと、システム回復オプション領域は消去されます。その領域（ ）も、「ディスクの管理」から設定するとドライブとして使用できます。

参照 ディスクの管理 「本章 3-①-1 パーティションを設定する」

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

①［C：ドライブのサイズ］で をクリックしてパーティション（C ドライブ）のサイズを指定する
　必要に応じて［システム回復オプション］にチェックをするか、またはチェックをはずしてください。
②［次へ］ボタンをクリックする
　手順６のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

3章 買ったときの状態に戻すには ―リカバリ―

③ リカバリディスクからリカバリをする

＊ここでは、作成したリカバリディスクまたは付属のリカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM を使用した場合について説明します。

次のメニューのなかからリカバリ方法を選択することができます。あらかじめリカバリ方法を決めておくとスムーズに操作できます。
リカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM を使って OS を変更する場合は、［ご購入時の状態に復元］を選択してください。

■ご購入時の状態に復元■
ハードディスクをパソコンを購入したときの状態に戻し、購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。購入後に作成したデータや設定などは消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元■
パーティションサイズを変更して使用していた場合、そのパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。C ドライブに保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータは、そのまま残ります。ただし、BIOS 情報やコンピュータウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、C ドライブ以外の領域にあるデータも使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元■
C ドライブ（ハードディスク）のサイズを指定して復元することができます。C ドライブ以外のハードディスクの領域は 1 つの領域になり、そこに保存されていたデータや設定などはすべて消去されます。

メモ

- どのメニューを選択しても、C ドライブには購入時と同じシステムが復元されます。

1 **AC アダプタと電源コードを接続する**

2 **リカバリディスクをセットして、パソコンの電源を切る（シャットダウン）**

リカバリディスクが複数枚ある場合は、「ディスク 1」からセットしてください。

3 **F12キーを押しながら電源スイッチを押し、［TOSHIBA］または製品ロゴ画面が表示されたら手をはなす**

ユーザパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。
ユーザパスワードを入力してENTERキーを押してください。

4 **アイコンが表示された場合は、←→キーでCDのアイコンを選択し、ENTERキーを押す**
または
メニューが表示された場合は、↑↓キーで［CD/DVD］を選択し、ENTERキーを押す

Windows Vista の場合は［復元方法の選択］画面が表示されます。
Windows XP の場合はメッセージが表示されます。手順 6 へ進んでください。

5 **［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

［システム回復オプション］には、パソコンを使用するうえでのさまざまなトラブルやデータ保護に対応したメニューが用意されています。詳細は「本節 ④ システム回復オプションについて」を参照してください。

メッセージ画面が表示されます。

6 **画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする**

［復元方法の選択］画面が表示されます。

7 ［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 ハードディスクの消去について 「4章 3-2 ハードディスクの内容をすべて消去する」

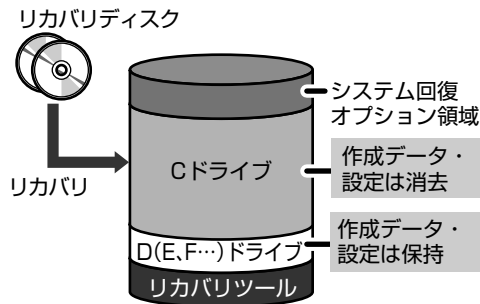
8 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

リカバリ DVD-ROM／リカバリ CD-ROM を使って OS を変更する場合は、［ご購入時の状態に復元］を選択してください。

［パーティションサイズを変更せずに復元］を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
ほかのメニューを選択した場合については、次のページを参照してください。

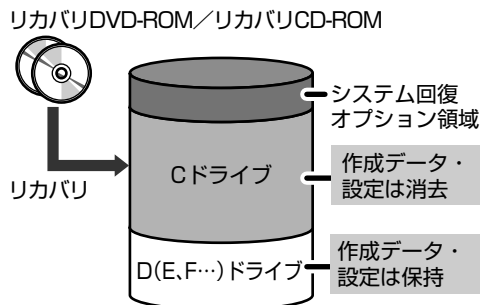
・［ご購入時の状態に復元］ ：P.46
・［パーティションサイズを指定して復元］ ：P.47

- 「パーティションサイズを変更せずに復元」とは
「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。C ドライブがリカバリされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

【リカバリディスクからリカバリした場合】

C ドライブ（ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

＊システム回復オプション領域は Windows Vista のみ

（ハードディスクの領域を分割している場合の表示例）

【リカバリ DVD-ROM／リカバリ CD-ROM からリカバリした場合】

C ドライブ（ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

＊システム回復オプション領域は Windows Vista のみ

（ハードディスクの領域を分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

- 「ご購入時の状態に復元」と「パーティションサイズを変更せずに復元」を選択した場合は、リカバリツールとシステム回復オプション（Windows Vista のみ）の領域が確保されているため、ハードディスクの 100% を使用することができません。

9 ［次へ］ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

［次へ］ボタンをクリックすると復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、リカバリの経過に従い、画面が変わります。

＊最初に［コピーしています。］画面が表示される場合があります。
長い時間表示される場合もありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリディスクが複数枚ある場合、画面の指示に従って入れ替えてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

10 ［終了］ボタンをクリックする

自動的にディスクが出てきます。リカバリディスクを取り出してください。
システムが再起動し、Windows のセットアップ画面が表示されます。

11 Windows のセットアップを行う

参照 詳細について 「1 章 3 Windows セットアップ」

- 一部のアプリケーションは、リカバリ後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

参照 詳細について 「本章 3- ② アプリケーションを再インストールする」

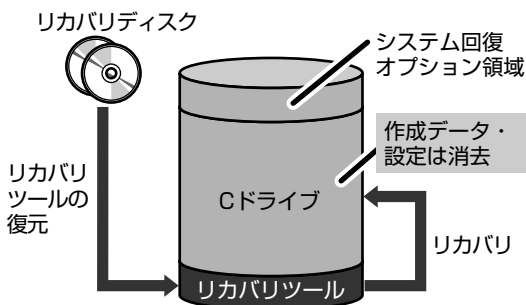
購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

［初期インストールソフトウェアの復元］画面のリカバリメニューについて

「本節③ リカバリディスクからリカバリをする」の手順８の［初期インストールソフトウェアの復元］画面で表示されるリカバリメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元■
パソコンを購入したときの状態に戻します（モデルによって、ご購入時のパーティションの状態は異なります）。

【リカバリディスクからリカバリした場合】

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

＊システム回復オプション領域は Windows Vista のみ

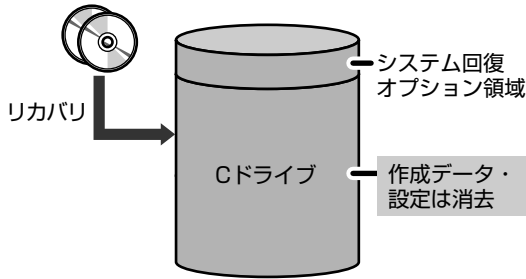
【リカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM からリカバリした場合】

リカバリDVD-ROM／リカバリCD-ROM

リカバリ

システム回復
オプション領域

Cドライブ

作成データ・
設定は消去

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

＊システム回復オプション領域は Windows Vista のみ

手順８のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元 ■

ハードディスク（C ドライブ）のサイズを変更します。
C ドライブ以外の領域区分（パーティション） とリカバリツールの領域は消去され、1 つの領域になります。その領域は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。
Windows Vista の場合、［システム回復オプション］のチェックをはずしてリカバリを行うと、システム回復オプション領域は消去されます。その領域（ ▇ ）も、「ディスクの管理」から設定するとドライブとして使用できます。

参照 ディスクの管理 「本章 3-①-1 パーティションを設定する」

【リカバリディスクからリカバリした場合】

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

＊システム回復オプション領域は Windows Vista のみ

【リカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM からリカバリした場合】

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

＊システム回復オプション領域は Windows Vista のみ

①［C：ドライブのサイズ］で ▲ ▼ をクリックしてパーティション（C ドライブ）のサイズを指定する
　Windows Vista の場合、必要に応じて［システム回復オプション］にチェックをするか、またはチェックをはずしてください。
②［次へ］ボタンをクリックする

手順８のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

④ システム回復オプションについて

＊ Windows Vistaのみ

Windows Vistaで本製品を使用する場合、「システム回復オプション」が用意されています。「システム回復オプション」とは、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにするメニューが集まったものです。

1 「詳細ブートオプション」を表示する

『取扱説明書』に記載されている「セーフ モードで起動する」と同じ手順で表示してください。

2 ［コンピュータの修復］を選択し、ENTERキーを押す

キーボードの選択画面が表示されます。

3 ［日本語］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

ログオン画面が表示されます。

4 ユーザ名を選択し、Windowsログオンパスワードを入力する

5 ［OK］ボタンをクリックする

「システム回復オプション」が起動します。

- スタートアップ修復
  システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動を妨げる可能性のある問題を解決し、正常に起動できるようにします。
- システムの復元
  システムファイルを正常に機能していた日時の状態に復元することができます。
- Windows Complete PC 復元
  ＊ Vista Businessモデルのみ
  Windows Complete PCバックアップイメージからコンピュータを復元します。
- メモリ診断ツール
  メモリが正常に機能しているかどうかを確認します。
- コマンドプロンプト
  コマンドプロンプトに切り替えます。
- TOSHIBA Recovery Wizard
  リカバリ（再セットアップ）メニューを表示します。

6 使いたいメニュー名をクリックする

このあとの操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

システム回復オプション領域を削除してしまったときは

リカバリをした際、［パーティションサイズを指定して復元］を選択し、［システム回復オプション］のチェックをはずした場合は、この手順では「システム回復オプション」を起動できません。次のいずれかの手順で起動してください。

- リカバリディスクがある場合は、ディスクから「システム回復オプション」を起動することができます。
  ①AC アダプタと電源コードを接続する
  ②ディスクをセットして、パソコンの電源を切る（シャットダウン）
  ディスクが複数枚ある場合は、「ディスク 1」からセットしてください。
  ③(F12)キーを押しながら電源スイッチを押し、［TOSHIBA］または製品ロゴ画面が表示されたら手をはなす
  ユーザパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。ユーザパスワードを入力して(ENTER)キーを押してください。
  ④アイコンが表示された場合は、(←)(→)キーでCDのアイコンを選択し、(ENTER)キーを押す
  メニューが表示された場合は、(↑)(↓)キーで［CD/DVD］を選択し、(ENTER)キーを押す
  ［復元方法の選択］画面が表示されます。
  ⑤［システム回復オプション］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする
  キーボードの選択画面が表示されます。
  ⑥「日本語」を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
  オペレーティングシステム選択画面が表示されます。
  ⑦「Microsoft Windows Vista」を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
  「システム回復オプション」が起動します。
- リカバリディスクがない場合は、ハードディスクから［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］を選択してリカバリをすると、［詳細ブートオプション］→［コンピュータの修復］から「システム回復オプション」を起動できます。

3 リカバリをしたあとは

① Windows セットアップのあとは

パーティションの設定を変更してリカバリをした場合のみ、次の「1 パーティションを設定する」の操作を行ってください。

1 パーティションを設定する

パーティションの設定を変更してリカバリをした場合は、リカバリ後すみやかに次の設定を行ってください。
Windows Vista と Windows XP では、パーティションの設定方法が異なります。お使いの機種の状態に合わせて、該当する OS の手順をご覧ください。

Windows Vista の場合

お願い パーティションを設定するにあたって

- Windows Vista の「ディスクの管理」を使用すると、ボリュームがないプライマリパーティションが表示されます。このパーティションにはリカバリ（再セットアップ）するためのデータが保存されていますので、削除しないでください。削除した場合、リカバリはできなくなります。

1 **コンピュータの管理者になっているユーザアカウントでログオンする**

2 **［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする**

3 **［ システムとメンテナンス］→［ 管理ツール］をクリックする**

4 **［ コンピュータの管理］をダブルクリックする**

5 **左画面の［ ディスクの管理］をクリックする**

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 **［ディスク 0］の［未割り当て］の領域を右クリックする**

7 **表示されるメニューから［新しいシンプルボリューム］をクリックする**

［新しいシンプルボリュームウィザード］が起動します。

8 **［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する**

次の項目を設定します。
・ボリュームサイズの指定
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・パーティションのフォーマット
・ファイルシステム
・アロケーションユニットサイズ
・ボリュームラベル

9 **設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする**

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【ヘルプの起動】
①メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

Windows XP の場合

1 **コンピュータの管理者になっているユーザアカウントでログオンする**

2 **［コントロールパネル］を開き、［ パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする**

3 **［ 管理ツール］をクリックする**

4 **［ コンピュータの管理］をダブルクリックする**

5 **左画面の［ディスクの管理］をクリックする**

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 **［ディスク 0］の［未割り当て］の領域を右クリックする**

7 **表示されるメニューから［新しいパーティション］をクリックする**

［新しいパーティションウィザード］が起動します。

8 **［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する**

次の項目を設定します。
・パーティションの種類
・パーティションサイズ
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・フォーマット
・ファイルシステム

9 **設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする**

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【 ヘルプの起動 】
①メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

② アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。
Office 製品の再インストールについては、「本節 ③ Office 製品を再インストールする」を参照してください。

【 必要なもの 】
● 『セットアップガイド』（本書）

アプリケーションによっては、再インストール時に ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してから、再インストールすることを推奨します。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」や、各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

アプリケーションやドライバのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。
初めて起動したときは、［ドライバ］タブが表示されています。タブをクリックして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の「XXX のセットアップ」をクリックする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。

4 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

③ Office 製品を再インストールする

＊ Office 搭載モデル、PowerPoint 搭載モデルの場合

ここでは、Office Personal 2007 または Office Professional 2007 および Office PowerPoint 2007 を再インストールする方法を説明します。

【 必要なもの 】
付属のパッケージに、必要なものが一式入っています。

- 「Microsoft® Office Personal 2007」一式
- 「Microsoft® Office Professional 2007」一式
- 「Microsoft® Office PowerPoint® 2007」一式

再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。

再インストール方法とセットアップ方法

詳細は、それぞれのパッケージに付属の『スタート ガイド』を確認してください。

【Office ナビ搭載モデルの場合】
「Microsoft® Office ナビ 2007」は、アプリケーションの再インストールから再インストールします。
①［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする
②［セットアップ画面へ］をクリックする
③［Windows 関連］タブをクリックする
④ 画面左側の［Microsoft Office ナビ 2007］をクリックし、表示された画面に従ってセットアップする

④ バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした外部記憶メディアからデータを読み込んでください。

4章

デイリーケアとアフターケア ―廃棄と譲渡―

この章では、パソコンの日ごろのお手入れや、保守や修理に関することを説明しています。
パソコン本体を捨てるときや人に譲るときの処置について知っておいて欲しいことを説明しています。

日常の取り扱いとお手入れ

⚠注 意

- お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜くこと
  電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。

お願い

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

1 パソコン本体／ACアダプタ／電源コード

- 『安心してお使いいただくために』に、パソコン本体、AC アダプタ、電源コードを使用するときに守ってほしいことが記述されています。あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。
- 機器の汚れは、柔らかくきれいな乾いた布などでふき取ってください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってからふきます。
  中性洗剤、揮発性の有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。＊1
  温度５～35℃、湿度20～80％
  ＊1　使用環境条件は、本製品の動作を保証する温湿度条件であり、性能を保証するものではありません。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所には置かないでください。
- 水をかけたり、湿気の多いものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
  直射日光の当たる場所／非常に高温または低温になる場所／急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）／強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）／ホコリの多い場所／振動の激しい場所／薬品の充満している場所／薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。
- ケーブル類は折り曲げたり、巻き付けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 電源コードのプラグを長期間にわたって AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにホコリがたまることがあります。定期的にホコリをふき取ってください。

2 キーボード

柔らかい乾いた素材のきれいな布でふいてください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってふきます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナで取り除きます。ゴミが取れないときは、使用している機種名を確認してから、購入店、または保守サービスに相談してください。
飲み物など液体をこぼしたときは、ただちに電源を切り、AC アダプタとバッテリパックを取りはずして、購入店、または保守サービスに相談してください。

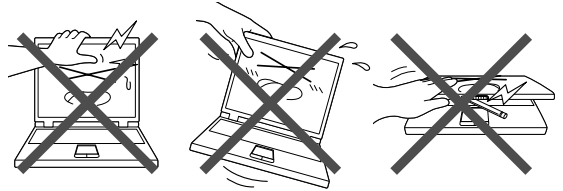
3 タッチパッド

乾いた柔らかい素材のきれいな布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってからふきます。

4 液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイの取り扱いについて

液晶ディスプレイの破損や故障を防ぐために、次のことを必ず守ってください。

- 液晶ディスプレイ表面を押さないでください。
- 液晶ディスプレイ部分をつかんで持ち上げないでください。
- キーボード上にペン等、ものをはさんだ状態で液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを開閉する際は片手でパームレストを押さえゆっくり開閉してください（無理な力を加えないでください）。

画面のお手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
  表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で軽くふき取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
  液晶ディスプレイは、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。強い力を加えると配向が乱れ、発色や明るさが変わって元に戻らなくなる場合があります。また、ガラス板を破損するおそれもあります。
- 水滴などが長時間付着すると、変色やシミの原因になるので、すぐにふき取ってください。ふき取る際は、力を入れないで軽く行ってください。

残像防止について

長時間同じ画面を表示したままにしていると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ることがあります。この現象を残像といいます。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると画像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使いかたは避けてください。

また、次の機能を利用すると、残像防止ができます。

- スクリーンセーバーを設定する

参照 スクリーンセーバーの設定「Windowsのヘルプ」

- Windows Vistaの場合
  :「電源オプション」で「ディスプレイの電源を切る」を設定する
  Windows XPの場合
  :「東芝省電力」で「モニタの電源を切る」を設定する

参照 電源オプション《オンラインマニュアル》

参照 東芝省電力「1章 7-「東芝省電力」について」

表示について

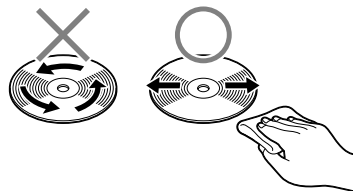
TFTカラー液晶ディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られております。非点灯、常時点灯などの画素（ドット）が存在することがあります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイが表示できる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」です）。また、見る角度や温度変化によって色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

5 指紋センサ

指紋センサ表面が汚れている場合には、認識率が低下する可能性があります。眼鏡ふき（クリーナークロス）などのきれいな柔らかい布で軽くふき取ってからお使いください。指紋センサ表面を強くこすらないでください。また、洗剤などは使用しないでください。故障するおそれがあります。

6 CD／DVD

CD／DVDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってください。

- 傷、汚れをつけないよう、取り扱いには十分にご注意ください。
- CD／DVDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD／DVDを読み込むことができなくなります。
- CD／DVDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD／DVDの上に重いものを置かないでください。
- CD／DVDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD／DVDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。
  データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD／DVDのデータ記憶面／レーベル面ともにラベルを貼らないでください。
- CD／DVDのデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD／DVDのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンなどを使用してください。ボールペンなどの硬いものを使用しないでください。
- CD／DVDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布でふき取ってください。ふき取りは円盤に沿って環状にふくのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状にふくようにしてください。乾燥した布ではふき取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

7 フロッピーディスクドライブ

- 市販のクリーニングディスクを使って、1ヵ月に1回を目安にクリーニングしてください。

8 フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。傷がついた場合は交換してください。
フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
  フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
  記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5～35℃	4～53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスなどの近くにフロッピーディスクを置かないでください。

9 データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクやCD-R、CD-RWなどにコピーしておくことです。
本製品は次のような場合、スタンバイまたは休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリ（バッテリパック、時計用バッテリ）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリ交換のとき
- バッテリ駆動で使用しているときにバッテリパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへの相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。
保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。保守・修理に出す前に、作成したデータのほかに次のデータのバックアップをとってください。

- メール
- メールのアドレス帳
- リカバリ（再セットアップ）ツール
- インターネットのお気に入り
- TPM 内部データ
- 自分で作成したデータ　など

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境（温湿度など）等の条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日に約 8 時間、1ヵ月で 25 日のご使用で約 5 年です。
上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
なお、24 時間を超えるような長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換(有料)が必要となります。

【 対象品名 】
本体液晶ディスプレイ ＊1、ハードディスクユニット、CD/DVD ドライブ ＊2、フロッピーディスクドライブ ＊2、キーボード、タッチパッド、マウス ＊3、冷却用ファン、ディスプレイ開閉部（ヒンジ）＊4、AC アダプタ

＊1　工場出荷時から画面の明るさが半減するまでの期間。
＊2　それぞれ内蔵されているモデルが対象です。
＊3　付属しているモデルが対象です。
＊4　液晶ディスプレイを開いたときに固定するための内部部品です。

社団法人 電子情報技術産業協会「パソコンの有寿命部品の表記に関するガイドライン」について

URL：http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503parts/index.html

消耗品について

【 バッテリパック 】
バッテリパック（充電式リチウムイオン電池）は消耗品です。
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、東芝製オプションのバッテリパックと交換してください。
東芝製オプションのバッテリパックと交換する前に、必ず指定の製品（型番）を確認してください。

参照　バッテリパックについて 『取扱説明書』

付属品について

付属品（バッテリパック・AC アダプタなど）については、「東芝パソコンシステム・オンラインショップ」でご購入いただけます。

【 東芝パソコンシステム・オンラインショップ 】
TEL　　：043-277-5025
受付時間：10:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00
（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
URL　　：http://shop.toshiba-tops.co.jp

保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から 6 年 6ヵ月です。

捨てるとき／人に譲るとき

1 お客様登録の削除について

●ホームページから削除する
東芝 ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する
② ［ログイン］ボタンをクリックする
［セキュリティの警告］画面が表示された場合は、内容を確認し、［OK］ボタンをクリックしてください。
③ ［東芝 ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
お客様専用ページにログインします。
④ ページ右上の［登録情報変更］をクリックする
［登録情報変更メニュー］画面が表示されます。
⑤ ［退会］をクリックし、登録を削除する

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は「登録情報変更」メニューで、商品削除を行ってください。
※ TID を退会されますと、「Shop1048」での TID 会員メニュー、およびポイントサービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

●電話で削除する
「東芝 ID 事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

● 東芝 ID 事務局（お客様情報変更）
TEL　　：0570-09-1048
受付時間：10:00 ～ 17:00
（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

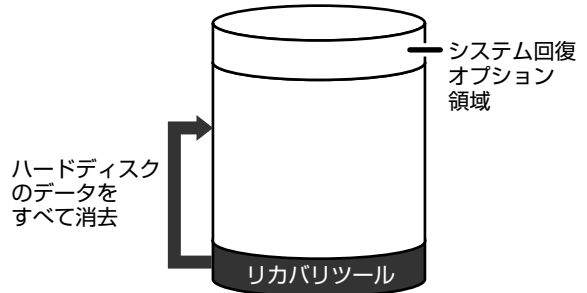
紹介しているホームページ、電話番号はお客様登録の内容変更、削除に関するお問い合わせ窓口です。
保守サービス、修理などの技術的な相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

法人のお客様の場合は、ログインで表示される画面が異なります。登録情報の変更および退会は「登録情報変更」のメニューで、ご自身で行っていただくことができますが、商品の削除ができませんので、その場合は東芝 ID 事務局までお電話でご連絡くださいますようお願いいたします。

● 詳しくは、次のホームページを参照してください。
URL：https://room1048.jp/onetoone/info/business.htm

またリサイクルに関しては、『東芝 PC サポートのご案内』を参照してください。

2 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

（ハードディスクのリカバリツールを使用する場合）

＊システム回復オプション領域は Windows Vista のみ

なお、ハードディスクに保存されている、これまでに作成したデータやプログラムなどはすべて消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

ハードディスクの内容を削除するには、ハードディスクのリカバリツール、作成したリカバリディスクまたは付属のリカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM を使用します。
ハードディスクのリカバリツールを使用すると、ハードディスク内のデータはすべて消去されますが、リカバリツールは残ります。
作成したリカバリディスクを使用すると、ハードディスク内のデータと共にリカバリツールも消去されます。
ここでは、ハードディスクのリカバリツールから行う方法を例にして説明します。リカバリディスクまたは付属のリカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM から行う場合は、手順の前にディスク（ディスク 1）をセットしてください。

1 **パソコンの電源を切る（シャットダウン）**

2 **AC アダプタと電源コードを接続する**

3 **0（ゼロ）キーを押しながら電源スイッチを押し、［TOSHIBA］または製品ロゴ画面が表示されたら手をはなす**

メッセージ画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。

【 リカバリディスクまたは付属のリカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM をセットしている場合 】

F12 キーを押しながら電源スイッチを押し、［TOSHIBA］または製品ロゴ画面が表示されたら手をはなします。
ユーザパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面が表示されます。
ユーザパスワードを入力して ENTER キーを押してください。
メッセージが表示されます。

アイコンが表示された場合は、(←)(→)キーでCDのアイコンを選択し、(ENTER)キーを押します。
メニューが表示された場合は、(↑)(↓)キーで［CD/DVD］を選択し、(ENTER)キーを押します。

Windows Vistaの場合は［復元方法の選択］画面が表示されます。
Windows XPの場合はメッセージ画面が表示されます。
手順5へ進んでください。

4 **［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

メッセージ画面が表示されます。

5 **画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする**

［復元方法の選択］画面が表示されます。

6 **［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

消去方法を選択する画面が表示されます。

7 **目的に合わせて、［標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

通常は［標準データの消去］を選択してください。
データを読み取れなくなります。
より確実にデータを消去するためには、［機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。
［ハードディスクの内容は、すべて消去されます。］画面が表示されます。

8 **［次へ］ボタンをクリックする**

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
［次へ］ボタンをクリックすると、消去が実行されます。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。

9 **［終了］ボタンをクリックする**

ディスクから行った場合は、自動的にディスクが出てきます。ディスクを取り出してください。

TPMの内容を消去する

＊ TPM搭載モデルのみ

TPMを使用している場合、ハードディスクドライブだけでなく、TPM内部のデータを削除する必要があります。登録情報など、セキュリティに関する重要な情報が含まれるため、必ずデータを削除してください。

参照 『Trusted Platform Module取扱説明書』

リカバリ(再セットアップ)チェックシート

リカバリは、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。
本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「3 章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

① リカバリをする前に確認すること

□ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
□ セーフ モードで起動できるかどうか実行してみる
□ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
□ ほかのトラブル解消方法を探してみる

参照 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

② リカバリをはじめる前にしておくこと

□ **①準備するもの**

□『セットアップガイド』(本書)　□『取扱説明書』
□ このリカバリチェックシートをコピーしたもの
□ リカバリディスク(作成したリカバリディスクからリカバリする場合)
□ リカバリ DVD-ROM ／リカバリ CD-ROM(付属しているモデルの場合)

□ **②必要なデータのバックアップをとる**

バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。リカバリをすると、購入後に作成したデータはすべて消失します。

□ ドキュメントまたはマイドキュメントのデータ
□ 購入後にデスクトップに保存したデータ
□ インターネットエクスプローラのお気に入り
□ メール送受信データ
□ メールアドレス帳
□ プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
□ 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
□ 購入後に作成したフォルダやファイル

□ **③アプリケーションのセットアップ用のメディアを確認する**

「Microsoft Office」や、購入後にインストールしたアプリケーションなどは、リカバリ後にインストールする必要があります。リカバリした直後は、お客様がインストールしたソフトなどは復元されません。ご購入されたメディアなどから再度インストールしてください。

□ **④各種設定を確認する**

□ **⑤あらかじめ、音量を調節する**

□ **⑥周辺機器をすべて取りはずす**

③ リカバリ(再セットアップ)の流れ

リカバリをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

□ リカバリ(再セットアップ)
□ アプリケーションやドライバのインストール*
□ ウイルスチェックソフトのインストール*
□ Office 製品(Word、Excel など)のインストール*
□ 周辺機器(マウス・メモリ・プリンタなど)を取り付けて、設定する
□ インターネットの設定
□ ウイルスチェックソフトの更新
□ Windows Update
□ データの復元やメールの設定

＊ 必要なモデルの場合